

「みいちゃんと山田さん」アニメ化に対する意見書

私たち（一社）全国手をつなぐ育成会連合会（以下「本会」という。）は、障害の状態にかかわらず、ライフステージに応じた適切な支援と権利擁護のもとで安心して暮らすことができる地域の実現を願っており、障害者基本法に定める「共生社会」の実現を目指して活動に取り組んでおります。

今般、漫画作品「みいちゃんと山田さん」がアニメ化されるとの報道があり、本会としても慎重に事実関係を確認してまいりました。

作品中、主人公とされる「みいちゃん」は知的障害の判定を受けておらず、明示的に知的障害者であるとはいえません。しかし、作品中の描写では軽度知的障害もしくは境界知能とされる状態であることが強く示唆されています。

また、作者の 亜月 ねね 氏（以下「作者」という。）から、軽度の知的障害があり、障害者手帳（療育手帳（東京都では愛の手帳）と推認されます）を所持していた女性を「みいちゃん」のモデルとした旨の発言がなされています。

こうしたことから、確認された状況を踏まえ、本会として次のとおり意見を表明いたします。

記

1 基本的な考え方

本会は、知的障害者の権利擁護を活動の主軸とする団体であり、本意見もその立場に立って表明するものです。他方で、法令の順守は重要なことであり、特に表現の自由については憲法で保障されている権利ということを踏まえ、本会として一律に映像化を反対する立場は取りません。

ただし、次のとおり本会の立場では懸念を抱かざるをえない事象が確認されていることから、これらの事象への懸念が払しょくされることを強く希望するものです。

2 制作者の言動関係

本会が確認した範囲となりますが、次のとおり懸念される言動がありました。

（1）作者の言動

作者が公表している、もしくは過去に公表しており確認が可能な言動として、吃音のある人が、その特性から社会生活上の困難を抱えている状況を「うまく注文で

きないことを店員から馬鹿にされる」という形で取り上げた作品があります。

また、認知機能、知的機能が低下した状態を「みいちゃん化」と表現しているほか、作者自身が以前のペンネームであると明示している「ダイアナ」名義でも特殊学級（特別支援学級）をネガティブに捉えた作品が確認されています。

（２）出版社の言動

本作品の出版社である（株）講談社の編集部員が、過去に公開されていた動画において「人の不幸話はめっちゃくちゃ楽しい」「誰かが可哀想な目に遭うところを見たい」「ポップに罪悪感なく人の不幸が読めちゃう」といった発言をしていることが確認されています。

こうした発言は、知的障害が強く想起される「みいちゃん」および障害者の人格と個性を尊重しているとは言いがたく、いわば「面白おかしく」扱った上でエンターテインメント化している、もしくはエンターテインメント化することを容認していることが強く懸念されます。

３ 「みいちゃん」が蔑称として使われている事例について

本会の調査では、すでに現実社会で「みいちゃん」が、知的障害や発達特性のある女性を揶揄・侮辱する言葉として使われている事例が複数報告されています。これに関して制作側が意図的に拡散させている事実は確認されていませんが、本会の立場では懸念すべき事項であるとともに、後述するレーティングに関係します。

４ 製作委員会コメントについて

本件に関し、（株）講談社も参画する「みいちゃんと山田さん」製作委員会からコメントが発表されています。このコメントに関する本会の意見は次のとおりです。

（１）アニメーションとして表現する意義

コメントでは、原作の映像化に関して「アニメーションとして表現する意義があるという判断」がなされた旨が記述されています。しかし、本会の調査では２の（１）

（２）で告示したような事象が確認されています。こうした状況を踏まえた上での「意義」とは何なのか、説明が必要と考えます。

（２）専門家の助言

コメントでは、「偏見や誤解を助長することのないよう、専門家の助言等」を得ていく旨が記述されています。しかし、残念ながら専門家はこういった立場の方を

想定しているのか、助言等とは何を指すのかについては記述がありません。個人名を明かす必要はありませんが、少なくとも専門家の立場や助言の内容については説明が必要と考えます。

(3) レーティング

コメントでは、「適切なレーティングや注意喚起を記載する」といった対応を取ることが記載されています。レーティング（一般的には視聴推奨年齢の設定）を明示するということは、少なくとも地上波放送ではないと考えられますが、本会として未成年者が気軽に視聴できる環境は望みません。適切なレーティングを希望いたします。

以上、本会の意見を公表いたします。「みいちゃんと山田さん」製作委員会の皆さまには、ぜひご一読いただきますよう、お願い申し上げます。

令和8年（2026年）8月
一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
会 長 佐々木 桃子